

左馬子市  
新井市  
久喜市

上  
七

新井市  
上  
七

印

印



大坂市南区  
天王寺白鷺ヶ丘  
林市蔵

あ飛

承年を度て、山陽に

ゆき來りて、やくとおもひ  
いれあつて、すうりうる

いとむらし、山陽に

ゆき來りて、やくとおもひ  
いれあつて、すうりうる

カニ乃君あゆ、山陽

宣谷：此方一處：

弟不遇、かのうとくに

今そひて、ゆきうけた

おれ、家来、生ま之

あ：司、ナトエ、仰

特活ミテ、仰、うま

、常、うる、ゆく、我、

仰、うる、ゆく、我、

おれの家業も生きて  
あ：司ナントで仰

忙活：テエト何、うま

「喫茶」多々あるが、我

併く、休む事多矣

モレル内湯：もとよりし

久シ友人方：之をルオス

占モレヒニサハ、常一ま

さる胸毛：ソラヤ上り

をもレ、四の木の板：ソラノ

カキ性：ソラノ

ウテ才を重ね在体有因

う、你矣也、友人：“懐カレキ

エトホド、カキシテ

大歎：是をカタマリテ之

家布：口占し、併じ大歎が

さきにかくと云つ考へし

止ひと仰り、取行メヒニ

あ古ノ事、宣ハシム事

宋文公集卷之三 大治

まことにかうと云ふ者として  
止ひとあはう 双行とし  
あらり下 実はほほ  
る事にまつてゐるが、元年  
のとが一とあるもいぢ  
おきと氣をそし 徒々  
もれあたるおかれど  
川あめう生や  
とお子供とす  
五つ心たゞゆきとて  
ちゑケンし 老とす  
すりと之澤代とてつ  
くしまと並ぬ そづ  
びづりと云ふと常  
和也二事と取る  
大之にかうのをこ

おやこ三事と取る  
程、ゆきかみ

大之に付すのを集

つゝ 今とつ狀也

あは年、家とたま

守の、至しねまづ

邊も、うれとおみ

うも、おはく ちく

れゆゆく

おきよはナゲリナ

ゆく、家とえと

おきよ、をえと

一ノ十二、

井の巻

八四

ひそかに、おもかく